

福祉こども専攻 アセスメントポリシーと学習成果指標

※アセスメント・ポリシーとは、学生の学習成果を可視化することで、本学の教育成果を測定・評価し、これをふまえて本学の教育を改善していくための考え方です。

本学では、教育成果を、機関レベル(短期大学全体)、教育課程レベル(学科・専攻)、科目レベル(各授業)の三つの段階で、以下のような方法で、入学時から卒業後までの学習成果を測定・評価します。特に、卒業時に備わっている能力を測定・評価するための方針として卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)は重要なものとして位置付けられ、それを満たした人材を育成できているか、三つの段階で測定・評価結果し、教育の質の向上、教育改善につなげ、学生に質の高い教育を提供します。

福祉こども専攻のディプロマポリシー(DP)

<p><知識・技能> 1-1建学の精神を理解している。 1-2保育者として求められる専門的知識・技術を修得している。 1-3保育者になるために社会人として必要な教養を修得している。</p>	<p><思考力・判断力・表現力> 2こどもや家庭及び地域について理解し、保育実践から学が姿勢を身につけている。</p>	<p><主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)> 3-1保育に必要なコミュニケーション力を身につけている。 3-2 保育者として 多様な人々と 協働する必要性を理解できる。 3-3「子どもの最善の利益」を考え続けることができる。</p>
---	--	--

	入学時	在学中	卒業時	卒業後
機関レベル	各種入学試験	退学状況 休学状況 短大生調査 在学生満足度調査	卒業・学位授与状況 就職状況 進学状況	雇用者・卒業生の仕事ぶりに関するアンケート
教育課程レベル (学科・専攻)	各種入学試験	GPA分布 単位習得状況	GPA分布 単位習得状況	雇用者・卒業生の仕事ぶりに関するアンケート リカレント教育
	入学前課題 (課題レポート・「保育職入門」テキストの課題・実習園調査)	入学前教育 (特別研究発表会参加・ピアノ講座)	保育士資格・幼稚園教諭二種免許状科目履修状況 保育士資格・幼稚園教諭二種免許状取得状況	卒業生の集い
		保育実習・幼稚園教育実習評価(実習先評価・自己評価)	保育士資格・幼稚園教諭二種免許状を除く資格取得状況	
		特別研究 I・II 評価	保育専門職就業率	
		専攻行事 ・保育セミナー ・実習報告会 ・特別研究発表会	就職・進学状況	
		地域貢献 ・「親と子のひろば」・「さくらっこ広場」での実践活動 ・特別研究における学内外の実践・連携		
科目レベル (各授業)		成績評価 教授ポートフォリオ 授業改善アンケート	成績評価 教授ポートフォリオ 授業改善アンケート	

【参考】京都大学高等教育研究開発推進センター 松下佳代「学習成果とその可視化」
 (中央教育審議会大学分科会 教学マネジメント特別委員会(第6回) 2019年7月5日)
 (https://www.mext.go.jp/content/1417855_002.pdf)